

議題（1）

大宮GCS推進戦略会議について

2021年9月22日（水）



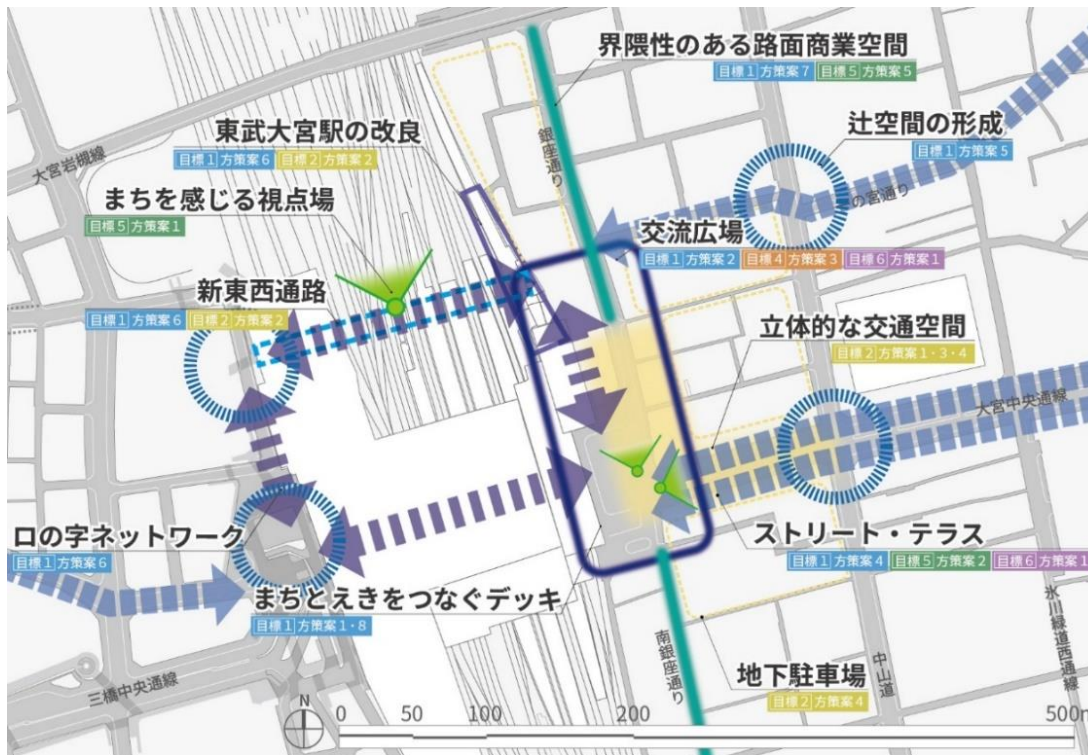
OMIYA GRAND CENTRAL STATION

平成30年7月

大宮駅グランドセントラルステーション化構想

令和3年3月

大宮GCSプラン2020



まちづくりの全体方針図(拡大図)
[大宮GCSプラン2020]

GCS構想全体の調整や大宮駅周辺をとりまく環境変化への対応
⇒GCS構想をスピード感を持って着実に推進

大宮GCS推進戦略会議

⇒ウィズコロナ及びポストコロナ時代に求められる大宮駅周辺地域のまちづくり

大宮GCSまちづくり調整会議

⇒大宮GCSプラン2020の実現に向けた全体調整

ガイドライン・
都市機能PT

駐車場ルール
検討会

駅前広場PT

東西通路PT

スマート
駅広研究会

オープンWG

駅前開発街区
検討会

駅機能高度化
検討会

※PT間で連携強化
※必要に応じて合同開催
※合わせて各地区・事業者との個別協議を実施

① GCS構想全体調整への意見

- ・大宮GCSプラン2020を踏まえ、開発街区等民間まちづくりや個別整備計画（駅前広場、新東西通路、駅改良等）は熟度に応じて推進
- ・各計画同士を調整・コントロールし、全体をマネジメントも必要

EX エネルギー・景観・都市機能・交通 等

⇒全体をマネジメントしながらGCS構想を推進するため、大所高所の立場から意見聴取

② ウィズコロナ・ポストコロナ時代の大宮のまちづくりへの意見

- ・「新しい生活様式」に対応した都市環境の提供が求められている。

⇒大宮駅周辺のまちづくりが国内・世界の先進事例となるよう意見聴取

① これからのまちづくりに重要な視点

① 歩行者中心の賑わいのある空間づくり

- ・ウォーカブルな街、緑あふれお祭りやイベントができる大きな広場の整備

② ランドマークの創造

- ・東日本の玄関口として、本市の顔となるランドマークの創造

③ 災害に強いまちづくり

- ・首都圏直下地震や激甚化する自然災害への対応

④ カーボンニュートラル

- ・2050年の二酸化炭素排出実質ゼロ都市へ

⑤ DXの推進

- ・デジタルで支える新たな市民生活のモデル都市スマートシティの実現

⑥ 東日本対流拠点としての更なるポテンシャル向上

- ・商都大宮の発展的再構築や企業誘致、新たな機能導入

② 大宮GCS推進会議のテーマ

第1回（今回）

歩行者中心の賑わいのある空間づくり

第2回（令和4年3月）

東日本対流拠点としての更なるポテンシャル向上

第3回（令和4年9月）

ランドマークの創造、災害に強いまちづくり

第4回（令和4年度末）

カーボンニュートラル、DXの推進

※並行して、GCSプランの進捗について報告し、意見を頂戴する予定

議題（２）

歩行者中心の賑わいある空間づくり について



ウォーカブルなまちづくり

「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの創出による「魅力的なまちづくり」

Walkable

歩きたくなる

1階をガラス張りの店舗にリノベーションし、アクティビティを可視化
民間敷地の一部を広場化（宮崎県日南市）



Eye level

まちに開かれた1階

【イメージ例】



Diversity

多様な人の多様な用途、使い方

Open

開かれた空間が心地よい

2つの開発の調整により
一体整備された神社と森（東京都中央区）



駅前のトランジットモール化と広場創出（兵庫県姫路市）

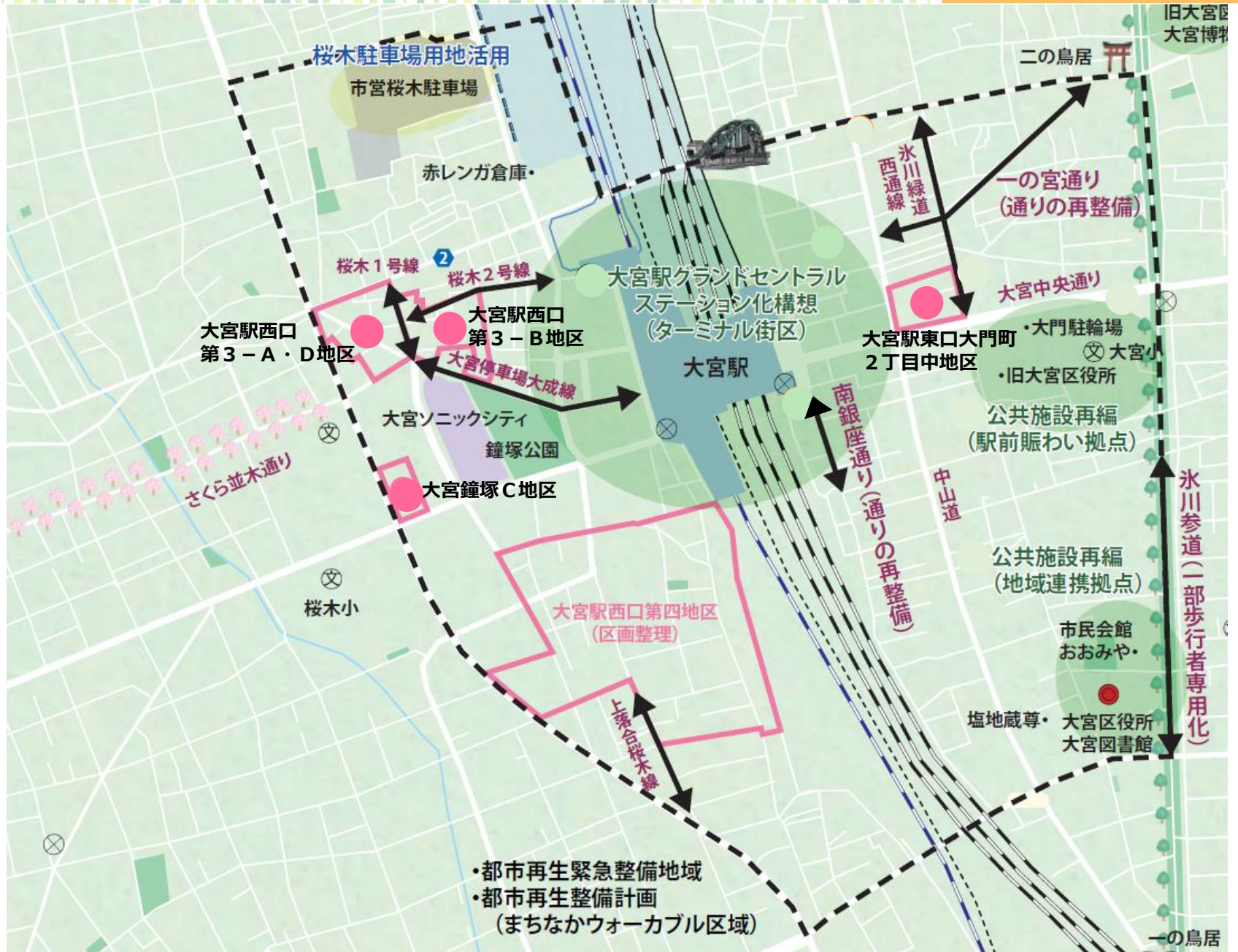


道路を占拠した夜間オープンカフェ（福岡県北九州市）



公園を芝生や民間カフェ設置で再生（東京都豊島区）

大宮駅周辺まちづくり動向図



- 都市再生緊急整備地域
- 都市再生整備計画 (まちなかウォークアブル区域)

周辺開発の状況

大宮駅西口第3 - B地区



施行者 大宮駅西口第3-B地区
市街地再開発組合

施工 前田建設工業(株)特定業務代行者

- 令和元年度 権利変換計画認可
- 令和2年度 解体除却工事、
本体工事着工
- 令和6年度 再開発ビル竣工（予定）

【施設計画】

A棟 階数：地上13階

用途：住宅（60戸）・商業

B棟 階数：地下2階、地上28階

用途：住宅（522戸）・商業・業務

延床面積 71,161㎡（A棟+B棟）

周辺開発の状況

大宮駅西口第3-A・D地区



商業エリアイメージ(まちなかギャラリー)

【施設計画】

- 延床面積 約85,000m²
 - 住宅：約30,000m² (約230戸)
 - 業務：約43,000m²
 - 商業：約12,000m²
- 平成30年度 都市計画決定
- 令和3年度 組合設立・事業計画認可 (予定)

このCG/パースは空面を元に描き起こしたものであり、今後の行政協議・諸検討により変更される場合があります。

大宮鐘塚C地区



施行者 株式会社武蔵野銀行（個人施行）

施工 株式会社大林組

- 平成30年度 権利変換計画認可、
解体除却工事着工
- 令和元年度 本体工事着工
- 令和3年度 再開発ビル竣工（予定）

【施設計画】

階数：地下2階、地上13階

用途：銀行店舗、事務所

延床面積 23,800m²

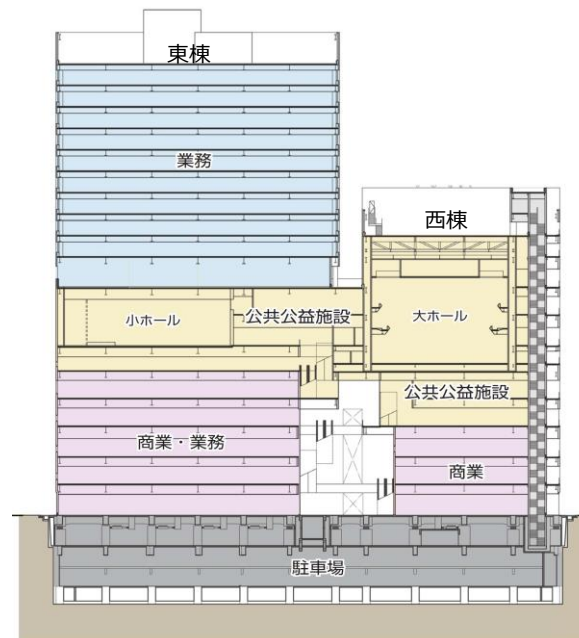
大宮駅東口大門町2丁目中地区



施行者 大宮駅東口大門町2丁目中地区
市街地再開発組合

施工 鹿島・松永建設
特定業務代行共同企業体

- 平成29年度 権利変換計画認可
- 平成29年度 本体工事着工
- 令和 3年度 再開発ビル竣工(予定)



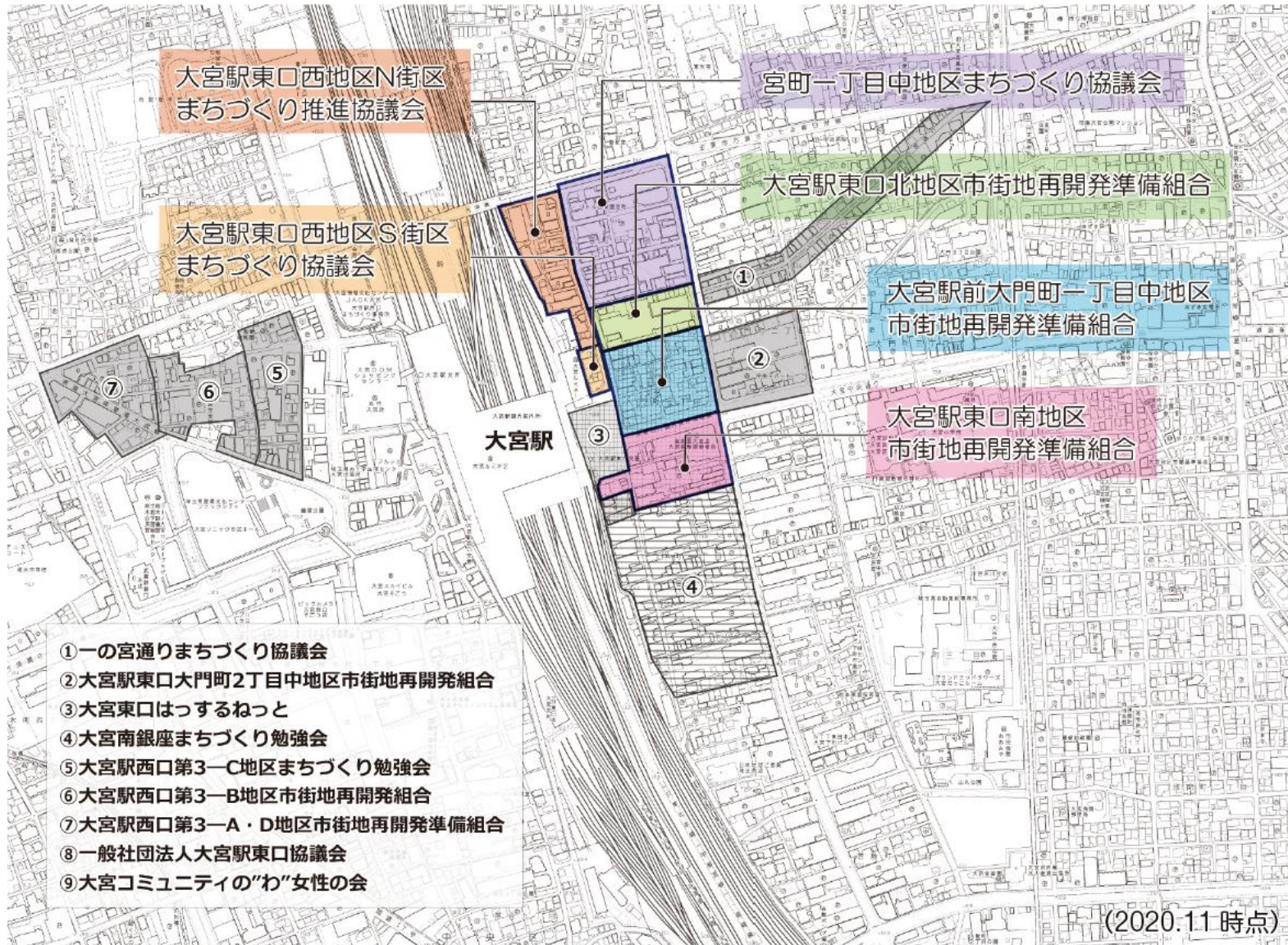
【施設計画】

地上18階

地下3階

延床面積82,100㎡

大宮駅東口まちづくり組織



個別整備計画

構想実現案

交通広場
地下車路ネットワーク

駅改良計画

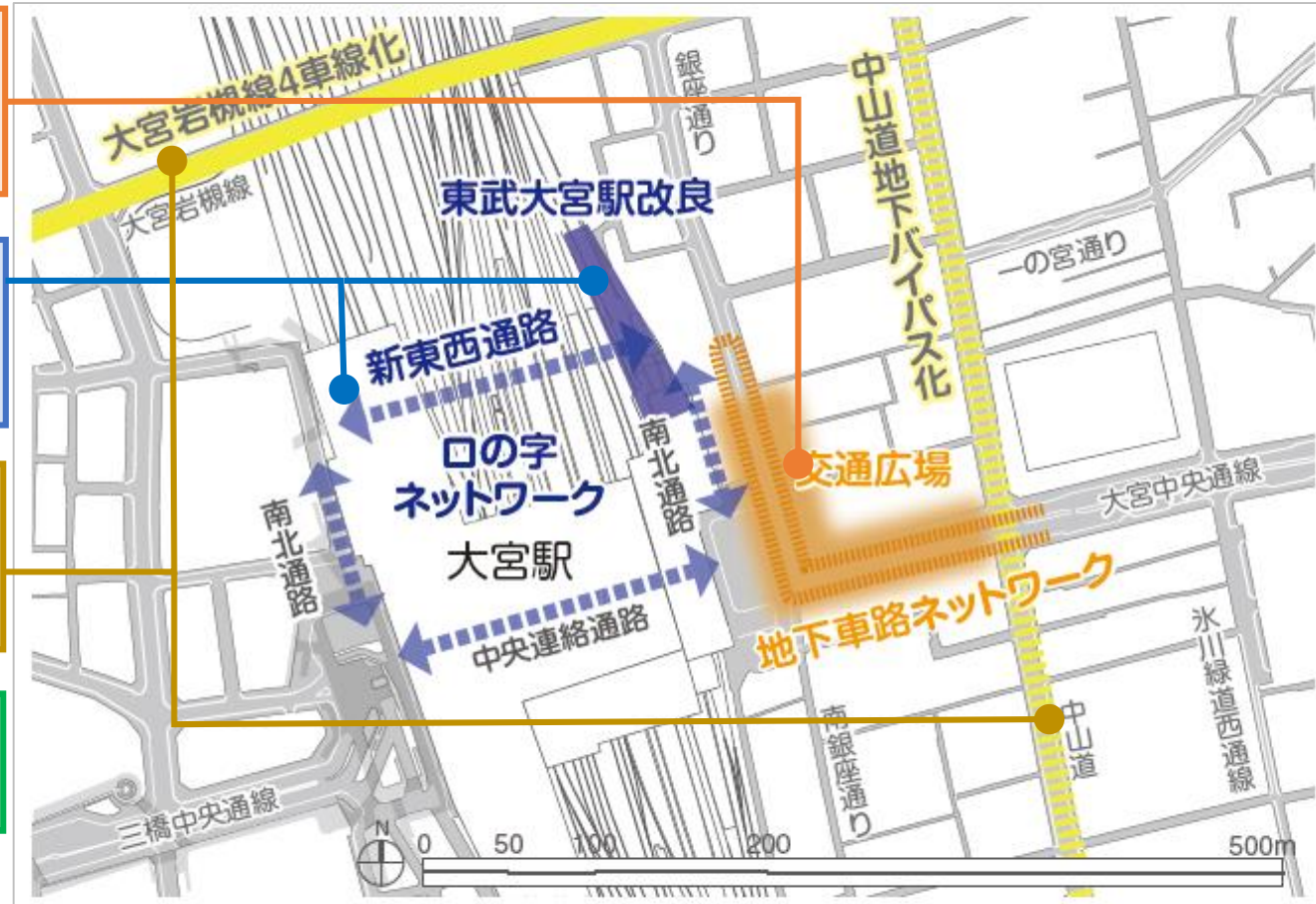
新東西通路・口の字ネットワーク
東武大宮駅改良

道路整備計画

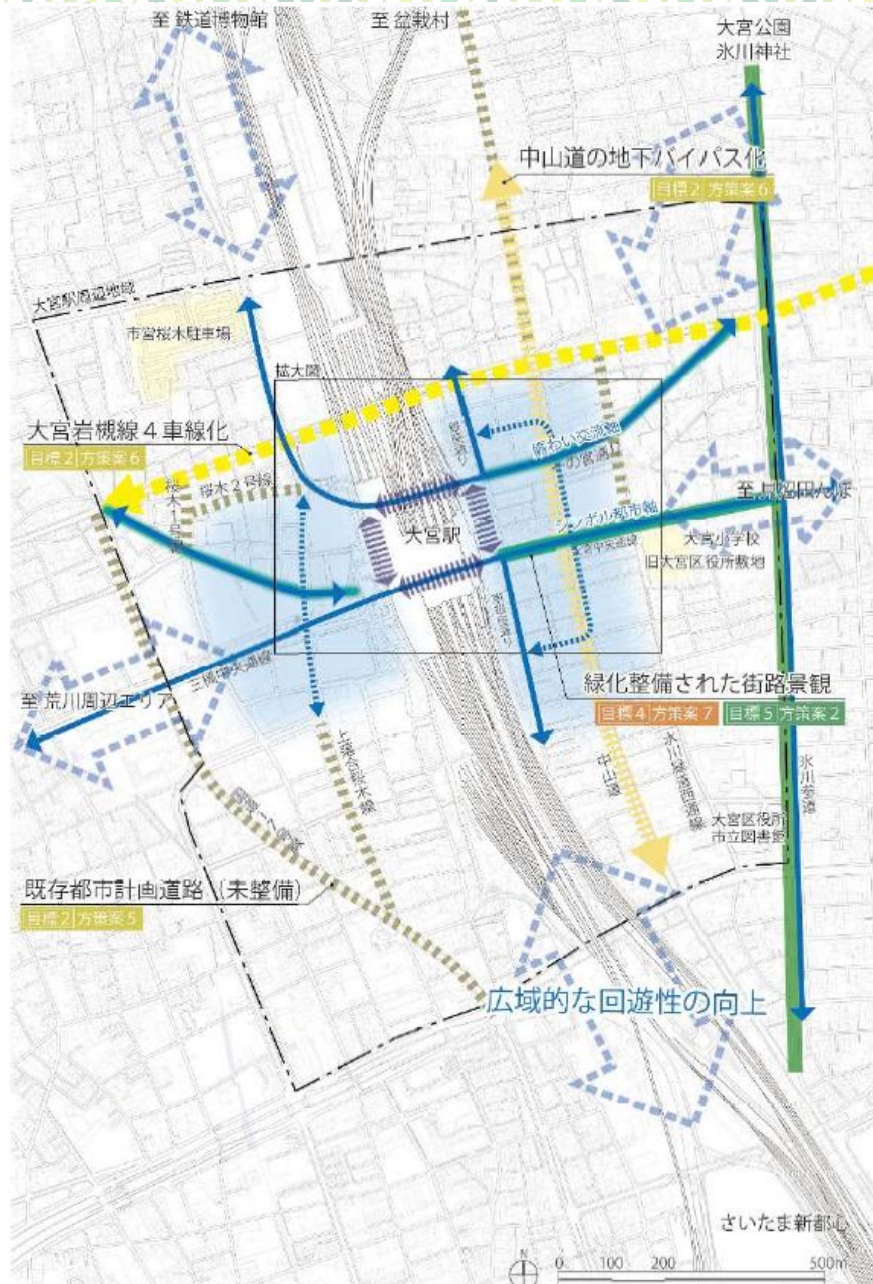
中山道地下バイパス化
大宮岩槻線4車線化

交通需要マネジメント








駐車場地域ルール 等



広域方針図



【凡例】

-  おもてなし歩行エリア
-  広域的な回遊性
-  主要な歩行者動線軸
-  主要な回遊動線
-  口の字ネットワーク
-  中山道の地下バイパス化
-  大宮岩槻線4車線化
-  都市計画道路(未整備)
-  公共用地
-  緑化整備された街路景観

今後のまちづくりの展開

街路整備の具体化に向けて、「街路整備の骨子」に基づき、**道路の拡幅**、**電線類の無電柱化**、**舗装の美装化**などの検討を進めます。

そのほか、勉強会と協働しながら、地区計画によるまちづくりの推進、街路空間の利活用の検討など、NANGINの魅力と価値を高める取組みを進めます。



イメージパース(昼)

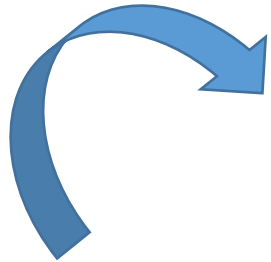


イメージパース(夜)



「おおみやストリートテラス」による街路空間の利活用

街並みや賑わいの形成のため、用地買収中の氷川緑道西通線の道路予定地を活用



BEFORE



AFTER



コロナ対策としての道路占用許可基準緩和の活用

国交省が、沿道飲食店等の路上利用の占用許可基準を緩和

制度を活用し、道路の両側 1 mをテラス席等として利用

➡ 土地活用モデル大賞において 国土交通大臣賞を受賞!!



一番街での様子



南銀座通りでの様子



- 歩道を拡幅し、車道を「2車線から1車線」へ削減
- 交互相行から一方通行へ変更
- 舗装や街路灯などの道路施設の景観性の向上等

